

活動記録



栃木県知事から環境省へ要望



国土情報基盤整備促進議員連盟 総理へ提言



東京都心・羽田空港直通電車推進期成同盟会



GX天然ガス推進議員連盟 経済産業大臣へ提言



さくら市立喜連川小学校 国会訪問



栃木県私立保育推進連盟の皆様と



小百地区の皆様と



全国産業資源循環連合会総会(環境大臣、副大臣、大臣政務官揃い踏み)



自由民主党

日本を守る。成長を力に。 五十嵐清 国会通信

令和7年夏号

■国会事務所 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館 915号室
■地元事務所 〒322-0024 栃木県鹿沼市晃望台25

■ホームページ <https://kiyoshi-igarashi.com/>
■発行所 いがらし清後援会連合会



第75回 全国植樹祭 埼玉2025

ごあいさつ

日ごろは、私の政治活動に温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、先の通常国会では少数与党の条件下で、115兆円超の当初予算を野党の要求にも応じながら年度内成立させるとともに、重要法案58本(例年は100本程度)を成立させました。

一方では、野党は参院選を意識して、年末の税制改正のタイミングで見直すという約束を反故にし、成立の見込みのない国会最終盤にガソリン暫定税率を即時廃止させる法案を提出することで政権与党との対決姿勢を演出するなど、代替財源を示さず「熟議の国会」とは言い難いものとなり、今後課題を残しました。

国際社会に目を転じれば、ロシアによるウクライナ侵略、イスラエル・ガザ紛争に加え、米国までもがイランを攻撃するなど、先行きが不透明となっています。

米国との関係においても、関税の協議が難航し、相互関税10%の影響が出始め、猶予期間が延長されなければ税率は24%となり、我が国のGDPを0.81%押し下げ、日本経済が後退局面に追い込まれる可能性もあると言われております。また、防衛費を対GDP比3.5~5%まで増額することを同盟・同志国にも求めており、今後の対応が極めて重要な局面を迎えます。

参院選や秋の臨時国会までは、地元での活動を充実させる所存ですが、「給付か、減税か」の議論に終始することなく、我が国の将来を見据えた政策を訴えるとともに国民生活の現状・実態をしっかり把握すべく努めてまいります。今号では、環境省での最近の話題と先の通常国会での私の取組の一端をご紹介します。

環境大臣政務官 衆議院議員 **五十嵐 清**

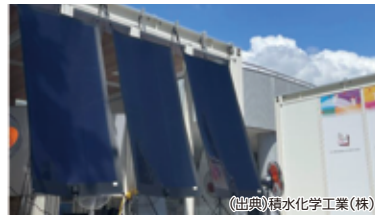
次世代型太陽電池 ペロブスカイト太陽電池で脱炭素の実現へ

我が国では、1.5℃目標に整合的で野心的な目標として、温室効果ガスを2013年度比で**2035年度に60%、2040年度に73%削減**する目標(「国別削減目標(NDC)」)を掲げています。このNDCを達成し、**脱炭素と経済成長の同時実現**を果たすためには、あらゆる技術を総動員しなければなりません。その切り札として注目されている「**ペロブスカイト太陽電池**」の導入を政府全体で推進していきますので、私も大臣政務官として取り組んで参ります。

ペロブスカイト太陽電池とは

日本発の次世代型太陽電池です。現在の市場の95%を占める従来型のシリコン太陽電池とは異なり、軽量・柔軟などの特徴を生かし、これまで太陽電池が設置困難であった場所にも設置できるため、再エネ導入拡大と地域共生の両立が期待されます。主要な原材料のヨウ素は、日本が世界第2位の産出国(シェア約30%)です。原材料を含め強靱なサプライチェーン構築を通じ、エネルギーの安定供給にも資することになります。

フィルム型



(出典)積水化学工業(株)

軽量で柔軟という特徴を有し、建物壁面など、これまで設置が困難であった場所にも導入が可能で、**新たな導入ポテンシャルの可能性**が大きい。

海外勢に、大型化・耐久性といった**製品化のカギ**となる技術で、**大きくリード**しています。

発電コストの低下に向けては、引き続き、**耐久性の向上に係る技術開発**が必要です。

ガラス型



(出典)サシニックHD(株)

建物建材の一部として、既存の高層ビルや住宅の窓ガラスの代替設置が期待され、一定の**新たな導入ポテンシャルの可能性**に期待されます。

海外勢でも技術開発が盛んに行われており、**競争が激化**してきている状況にあります。

フィルム型と比べ、**耐水性が高く、耐久性を確保しやすい**です。

タンデム型(ガラス)



(出典) (株)カネカ

現在一般的に普及しているシリコン太陽電池の置換えが期待されており、引き続き研究開発段階。**世界的に巨大な市場**が見込まれます。

海外勢でも技術開発が盛んに行われており、**競争が激化**してきている状況にあります。

開発の進捗状況は、フィルム型やガラス型に劣り、**引き続き研究開発段階**です。

× **シリコンは海外に依存**しています。

資源の乏しい日本の生きる道 “サーキュラーエコノミー”

鉱物やプラスチック等の資源枯渇への対応にもらみ、世界では**循環経済への移行が加速**しています。我が国では、需給のミスマッチや国外事業者による不適正なリサイクルルートが存在により、**循環資源の輸出量が増加**しており、国内製造業を支えるリサイクルインフラの維持と経済安全保障の観点から、国内で発生した資源の流出を抑制することが重要です。それを受け、令和6年度に循環経済(サーキュラーエコノミー)に関する関係閣僚会議を開催し、「循環経済への移行加速化パッケージ」を取りまとめました。循環経済(サーキュラーエコノミー)とは、使い終わったモノを、廃棄物ではなく資源として捉え、付加価値を付けて素材や製品にまた戻していくという考え方です。この循環経済への移行に向けた取組を地元栃木県の実状をふまえて私も大臣政務官として進めて参ります。

海外への資源流出対策の事例

- **不適正ヤード対策**
(不適正ヤードへの規制強化等による金属資源の国外流出抑制)
- **使用済自動車のリサイクル対策**



ヤード内で崩落した金属スクラップ



自動車向け再生プラスチック市場構築のための産官学コンソーシアム 会場

循環経済への移行加速パッケージ(施策概要)

- **地域の循環資源を生かした豊かな暮らしと地域の実現**
地域の再生可能資源の徹底活用、循環経済型ビジネスの拡大等
- **国内外一体の高度な資源循環ネットワークの構築**
製造業と資源循環業の連携強化による再生材供給拡大、高度な再資源化技術・設備に対する投資促進、不正ヤード対策、自動車再生プラ産官学コンソーシアム等
- **資源循環市場の創出拡大に向けた国内外のルール形成**
資源循環分野での国際ルール形成を主導、政府調達における循環性基準の導入による市場の創出支援

全国各地で発生する廃棄物等の**海外流出を抑制し、国内で資源として活用**することで、**新たな成長を創出**(資源循環業の拡大、地域の課題解決を通じた**地方創生、質の高い暮らしの実現**)します。

循環資源を最大限活用し、安定的な再生材供給体制を整え、**資源循環型の新しいものづくり・輸出大国の確率**に貢献致します。

食糧安全保障を確実に推進! 別枠予算で構造転換を急ぐ

米価が備蓄米の放出もあり下落に転じておりますが、中長期的に安定した価格が維持されるよう万全を期して参ります。一方で、我が党はロシアのウクライナ侵攻以来、食糧安全保障を強く意識して、活発な議論とともに必要な法改正を進めてきました。これを受け、令和7年度から令和11年度までの初動5年間で、農地の集積・集約化、地域農業の構造転換を確実に進めていくため従来の農業予算とは別枠での必要な予算(推計で2兆5,000億円)を確保する決議をし、政府に申し入れました。現場の要望量や現在の資材費・人件費等の高騰状況を十分に踏まえた上で、中長期的かつ明確な見通しを示すとともに、更なる資材費・人件費等の上昇により影響が生じる場合には、適切に反映していくこととしました。具体的な施策では、①**地域計画に基づく農地の集積・集約化**、②**低コスト化を実現する大区画化**、③**更新が必要なすべての共同利用施設への対応**、④**実用化されたスマート農業技術の導入**、⑤**輸出産地の育成・強化などを提言**しています。初年度5年間の重要性に鑑み、②の土地改良事業はこれまでの2倍のスピードで、一定規模以上は4倍速での整備をイメージしています。④のスマート農業機器の導入支援は個社/個人を対象とします。これらに加え、今後の水田政策の見直しとそれに必要な経費の増額にも言及いたしました。引き続き、私としても我が国の食糧安全保障が確かなものとなるよう力を尽くして参ります。



女性や子ども、高齢者に優しい避難所環境を目指して

能登半島地震を契機に、防災・減災の意識がさらに高まっています。石破内閣も防災庁の設置を始め、これまで以上に**防災対策や避難所の機能強化**に取り組んでおります。これまで災害時には必ずしも、女性や子ども、お年寄りなど配慮の必要な立場の方々への対応が十分ではありませんでした。この反省を踏まえ、令和6年度補正予算や今年度当初予算を増額するとともに、様々な施策や取組みを充実させております。例えば、①**快適なトイレ環境(トイレカー、トイレトレーラー、簡易トイレ等)**、②**温かい食事と多様なメニュー(キッチンカー、キッチンコンテナ、炊き出し用資機材等)**、③**入浴環境(シャワーカー、水循環型シャワー、仮設入浴施設等)**、④**プライバシー確保(テント式パーテーション、屋内用インスタントハウス、簡易ベッド等)**を迅速に提供することで、避難所の生活環境の抜本的な改善を進めていきます。また、防災・減災に必要な車両や資機材において、地方公共団体が地域経済の活性化や住民の防災意識の浸透等に向けた平時の利活用に資するもの(例:福井県おおい町のベビーカー用整備)については、全国的普及が図られるよう交付金によって緊急的に支援しています。我が国の防災対策や避難所環境が世界レベルとなるよう私も引き続き取り組んで参ります。

主な資機材の例



トイレトレーラー

キッチンカー

屋内用インスタントハウス

仮設入浴施設

ベビーカー用整備事業(福井県おおい町)

